



2026あそび場だより



こんにちは。向台小学校施設開放運営協議会（略して運協^{うんきょう}）です。

運協では、放課後と休日の校庭や体育館を、向台小学校の子ども達をはじめ、地域の方が有効に活用できるよう活動しています。

放課後のあそび場の予定は毎月発行している「あそびばかいほう」をご覧ください。

今年度の「自由あそび」の開催は5月13日からの予定です。

【向台小学校施設開放運営協議会とは？】

向台小学校の施設を安全な場所として、また地域におけるコミュニティ施設または地域住民のみなさんの社会教育活動の場として開放し、その運営を住民が行っています。

また、向台小学校の子どもたちに向け「放課後子ども教室」の企画・運営をしています。

西東京市教育委員会 地域学習推進課が管轄しています。

【運協の構成メンバーとは？】

向台小学校、むこさぼカンパニー、青少年育成会向台けやき会、向小利用団体（5団体）、地域の方です。

校庭の南側にある「管理棟」で、第一火曜日の月1回、運営会議を行っています。

【施設を利用できる人は？】

あそび場の利用は、小・中・高校生、幼児は保護者同伴になります。小・中・高校生が幼児を連れての利用や、大人・大学生だけの利用はできません。

「団体利用」は、10名以上の登録団体です。団体登録は、地域学習推進課で行っています。

むこさぼカンパニーも、団体のひとつです。

【遊び場開放ではどんな遊びができる？】

ボール類・バドミントン・テニス・一輪車・砂場セット・大なわ・なわとび・竹馬・フリスビー・ホッピング・フラフープ・Tボール・けん玉・缶ぽっくり等の貸し出しをしています。

数に限りがあります。譲り合って使いましょう。

私物のボールや遊具は使えません。また、ペット同伴、自転車の練習はできません。

【あそび場開放の体制は？】

運協が推薦した「施設開放管理者」と、運協が雇用している「放課後サポーター」が管理しています。

「施設開放管理者」は、西東京市・運協・学校・放課後サポーター・登録団体等とのパイプ役となって、子ども達の安全な環境を整えています。

「放課後サポーター」は、遊び場開放中の子ども達の安全を守り、遊具の貸し出しや怪我等の応急処置をしています。現在、23名の地域の方が登録しています。

平日は3名、土・日曜日は4名、自由遊びは6～7名で見守っています。

地震などの災害が起こった場合、学校に留め置きますので、お迎えをお願いします。

忘れ物が多くなっています！持ち物に名前を書くなど、各自対策をお願いします！！

